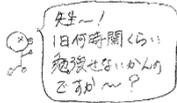




★中学生の学習時間★

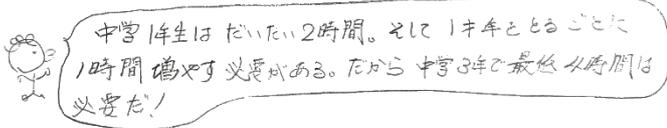
テストの前、計画を立てるときなど、



と言ってくる人がいるが、私の返事は「さあね!」である。冷たい答えだと思う人もるだろうが、今日はこのことについてふれていこう。よくこういう、根拠がわからない方式を耳にする。

その理論だと、高校1年で5時間、高2で6時間、・・・大学4年生は11時間?

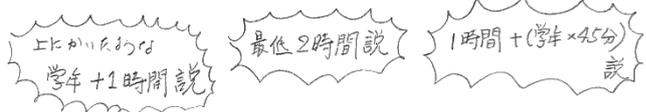
へりくつだがそういうことになる。どうせ、へりくつついでに35才で24時になり、36才以上は次元の違う空間が必要になる。



では、中学生は何時間勉強すればいいのだろうか?

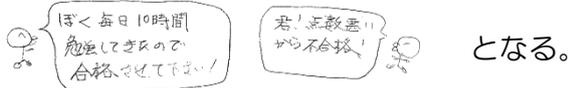
このことについてはいろいろな説がある。

では、その答えは、『はっきり決まっていない』のである。それは全員が全員同じ勉強時間を過ごしたからといって同じだけ学力が上がるとは思えないからである。

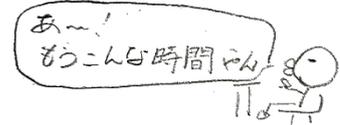


勉強が得意な人は、短い時間で学力が身につくし、勉強が苦手な人は、長い時間を費やす必要があるのである。つまり、その人に必要な時間は、実はみんな違うのである。

時間だけたくさん費やしたからといって、



となる。



これって集中している証拠

勉強時間といっても、下の2つのうちどっちがいいかわかるよね。

- ① 集中して50分間学習。
- ② 机に向かって3時間。

その間ボーっとしたり、引き出しあけておもちゃさがしたり、用もないのに台所に行って冷蔵庫あけたり、何度もトイレ行ったり。

何時間勉強に時間をかけたか! ということより、どれだけ集中して取り組めたか! である。「あら〜、もう勉強おわりなの?」と親に言われても、テストで結果を出せば大丈夫なのであ〜る!

結果をだせばの話

3月の新聞記事より

やりたいこと 今だからこそ
(みやま市・高校生)

あなたは2020年を一言で表すなら何にしますか? プラスのこと、マイナスのこと、人によって違うけれど、マイナスの方が多いような気がする。それほどこの年は多くの人にとって災難な年だった。

昨年、新しい環境で新しいことができる期待を膨らませて高校に入学した。しかし、新型コロナのせいで普段通りのことができず、正直言って期待通りではなく不満だった。

でも新しい年になり、昨년을振り返って思ったことがある。コロナに思い通りにさせてはいけないということだ。こんな時だからこそ、できないことばかり考えず、少しずつでもいいから今自分がやれること、やりたいことを見出すべきではないだろうか。

何も知らない高校生が何を言っているんだ、と思われるかもしれない。それでも僕は後悔しないように、これからを大切に生きたい。